

◆日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

戦略	施策	交付金の名称 (補助率)	交付対象事業の名称 (担当課所)	事業の概要	交付金の実績額 (単位：円)	重要業績評価指標 (KPI)				地方創生に 対する事業効果	実績値を踏まえた事業について	
						設定の 有無	指標	指標値	実績値 (平成30年度)		今後の方針	理由
【戦略1】 日本一を誇る 500万本の曼 珠沙華・高麗郡 建郡1300年か らつながる“魅力 ある観光づくり”	<施策1-2> 民間活力を生かし た観光による経済 効果の拡大	地方創生推進交付 金(1/2)	ひだかの特産品づく り(栗)プロジェクト (産業振興課)	県内1位の出荷量を誇る本市の名産である 「栗」を活用した新たな特産品の創出をきっかけと して、市内で生産される栗全体の魅力や付加価値 を最大限に高めるとともに、生産量・出荷量の 増加や生産者の収入拡大、新たな就農者の獲得 など、栗をベースとした持続性のある農業経営 の確立や地域経済の活性化に向けた好循環を図 る。 平成29年度から平成31年度までの3カ年を 実施期間として、次の事業に取り組む。 ①「栗」の特産品創出事業 ②「栗」のブランド力向上に向けた事業 ③「栗」の生産量増大に向けた事業	5,120,951円 【内訳】 ・平成29年度 2,936,148円 ・平成30年度 2,184,803円	有	新たな特産品売上げ 額	7,000,000円 (平成31年度末)	1,659,460円	効果があった	事業の継続	平成30年度に実施した主な事業は、女子栄養 大学と連携して栗製品の販売支援・販路拡大を 進めるため小冊子を作成、栗のブランド力向上を 図るため「ひだか栗フェスティバル」を開催した。 引き続き、栗全体の魅力や付加価値を高める 取り組みを進めるとともに、安定した栗の生産・供 給体制の整備を図る。
						有	農産物直売所売上 げ額	470,000,000円 (平成31年度末)	404,338,000円			
【戦略3】 笑顔あふれる” 子育て環境づく り”	<施策3-2> 子育て応援拠点の 拡充	地方創生拠点整備 交付金(1/2)	多世代型地域共生 社会に向けた拠点 強化・コミュニティ ビジネス推進一体プロ ジェクト(福祉政策 課、子育て応援 課)	高齢者及び障がい者の福祉の増進を目的とし た総合福祉センター内に、新たに子育て拠点施設 を整備し、高齢者、障がい者、子ども及び子育て 世代といった、多様な世代の相互交流の場として 総合福祉施設の拠点性強化を図り、多世代型 地域共生社会の構築に向けた拠点機能を高めると ともに、福祉分野におけるコミュニティビジネスの推 進を図る一体的なプロジェクトとして実施する。 平成28年度から平成32年度までの5カ年を 実施期間として、当初の2カ年で「(仮称)日高市子 育て総合支援センター」を整備する。	26,450,000円	有	合計特殊出生率	1.5 (平成32年度末)	集計中	相当程度の効 果があった	事業の継続	子育て総合支援センターの整備が平成29年に 完了し、事業実施期間の3年目となる。 平成30年度は同センター利用者数が18,694 人に達しKPIを達成した。引き続き拠点性の 強化を図っていく。 一方、高齢者や障がい者、子育て世代といった 多様な世代が相互交流できる取組や「地域支 え合い事業」は拡大に至らなかったため、コミュニ ティビジネスの取組の強化促進を図っていく。
						有	地域子育て支援セン ターの利用者数	9,000人 (平成32年度末)	24,138人			
						有	地域福祉活動参加 割合	29.5% (平成32年度末)	27.2%			
合計					31,570,951円							